



エジプト遺跡めぐり 『アレキサンドリア』

アレキサンドリア （アレキサンダー大王が建設したクレオパトラの街）

地中海に面しプトレマイオス朝には首都が置かれた、クレオパトラやシーザーゆかりの港湾都市。エジプトといえばナイル川というイメージだが、ここは地中海都市で雰囲気ガラッと変わる。シーフードが美味しく食べられるのもうれしい。また観光スポットもそろっていて、空港もあるので空路での訪問も可能だ。



ポンペイの柱



カイトベイの要塞とスフィンクス

アレキサンドリアのシンボルともいえるポンペイの柱は高さ約 30m で、2 体のスフィンクスが柱を守るように置かれている。かつてはこのような柱が林立していたと言われる。また岬の先端に位置するカイトベイの要塞も見ごたえがある人気の観光スポットで内部は海軍博物館になっている。



アレキサンドリアのナショナルミュージアム（国立博物館）は、小規模ながらも貴重な収蔵品を展示している。特に今も発掘作業が続く沖合の海底から出土した遺物は興味深い。またグレコローマン博物館も多くの遺物を収蔵しているが、現在は改装で閉館中。（出発前に要確認）



リゾート地でもあるアレキサンドリア



郊外にある世界遺産アブー・ミーナー



アレキサンドリア図書館



モンタザ宮殿